

令和2年度

校長室から

学校経営方針

「地域とともにつくる日本一楽しい学校」

学校教育目標

「人間性豊かなたくましい子どもの育成」

No. 8 令和2年 6月10日（水）

【6年生 教科担任制にトライ！】

6年生は、分散登校中、4人の教員が国語・算数・社会・理科の教材を深く研究して、4クラスの授業を受け持つ取り組みを行っています。今は午前・午後のグループに分かれているので、1人の教員が同じ内容の授業を「8回」行うことになります。担任からは、「何回も授業の中で改善ができるのがいいです」「子どもたちからも評判がいいです」「今後、子どもたちにアンケートをとる予定です」との声を聞きました。教員の授業力アップが子どもたちの意欲のアップにつながることを期待しています。



←理科の実験。教材教具の準備に力を入れ、ICTも利用しています。



→算数では、少人数指導の教員も加わります。分散登校中は半分の子どもたちに教員が2名つけるので、問題の丸つけやアドバイスがすぐにできます。

【生き物に感じる生命力】



3年生はチョウの観察に夢中です。モンシロチョウやアゲハチョウの生長から目が離せない様子です。5年生は理科でメダカの学習があります。今、水そうでは卵をつけたメダカや、かわいい赤ちゃんメダカを見ることができます。

校長室の前にはびわの実がたくさんつきました。夏が来たなあと感じます。



冷水機はしばらくお休みです

【ソーシャルディスタンス、おぼえたかな？】



養護教諭の野元先生・春日先生がわかりやすい資料を作って掲示しています。まだ見ていない人は、保健室の廊下でぜひ見て下さいね。

手を洗うときに待つ場所を青いラインで示しています。

